

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-80	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	言文 701	新編言語文化		

1.編修の基本方針

① 社会人として求められる言語能力を身につけるとともに、言語文化に対する関心と理解を深める。

- 各単元扉に、その単元での学習目標と、学習する作品や教材に関連した年表、学習する内容に関連した解説を示すとともに、現代文編では、教材ごとに学習する主な目標も示しました(詩歌単元を除く)。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- 教科書冒頭には、上代から現代に至る言語文化の継承と発展を示す「言語文化の見取り図」と、作品のテーマや観点に時代を超えたつながりがあることを示す「響きあう言語文化」を用意し、それぞれ教材との関連を持たせました。
- 現代文編では5単元、古文編では5単元、漢文編では4単元を用意し、言語文化に対する関心と理解を深めることができる教材を、時代やジャンルのバランスに配慮して掲載しました。また、古文編と漢文編の間には「文体の変遷」を用意し、上代から近代に至るまでの日本語の文体の変化に触れることができるようにしました。

② 論理的思考力や深く共感したり豊かに想像したりする力、伝え合い、自分の考えを形成する力を高める。

- 展開を捉えて内容を理解するのに適した小説教材や随筆教材を用意しました。また、想像力や表現力を養えるよう、筆者の豊かな感性が表れた詩歌教材や随筆教材を配置しました。
- 漢文編では『論語』の注釈を読む』を用意し、日本における『論語』受容の歴史を知るとともに、中国や日本の学者の『論語』解釈に触れることで自らも解釈を試み、自分の意見を持つことができるようにしました。
- コラム形式または手引き形式の「言語活動」を、その活動に関連のある作品・教材等の近くに設け、「書く」「読む」能力を有機的かつ効果的に高めることができるようにしました。また、グループ活動を視野に入れたものを豊富に設定することで、伝え合う力を高められるようにしました。

③ 教材本文とコラム・附録等との関連を図り、多様な学習に対応できるようにする。

- 現代文編では「小説の読み方」、「短歌の読み方」、「俳句の読み方」、「詩の読み方」を設け、それぞれの教材のジャンルに対応した読解の仕方を、教材本文も例に挙げながら、分かりやすく示しました。また、各コラム末にブックガイドを設け、ジャンルやテーマに関連した図書を紹介し、読書に親しめるよう工夫しました。
- 現代文編では「現代文の窓」(1か所)、古文編では「古文の窓」(5か所)、漢文編では「漢文の窓」(3か所)をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
- 古文編では「古文学習のしるべ」(6か所)を設け、古文に関する基本的知識や文法事項を、読むことの学習に即して身につけられるようにしました。
- 附録には、豊富な資料を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。「読書案内」では、掲載作品や作者等に関連した図書を取り上げ、読書への関心が高まるようにしました。「用言活用表」「文語助動詞活用表」「文語助詞一覧表」「古文重要語句」「漢文句法・重要語のまとめ」「年表」「古典参考図録」では、教材本文と有機的に関連させて学習ができるようにしました。また、学習の見通しや振り返りに生かせるように、「この教科書で学ぶこと」を用意しました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
現代文編	1 随筆	・桜に対する日本人とヨーロッパの人の感性の違いを通じて、日本人にとって桜が格別な存在であることを述べる随筆を用意しました。(第5号)	→10～15ページ
	2 小説1	・登場人物の会話や行動の描写を通じて、親子の情愛、人と人との心の触れ合いを感じ取ることができる小説を用意しました。(第1号)	→24～35ページ
	3 詩歌	・近現代の代表的歌人・俳人の作品など、伝統的な定型詩を理解し、味わうことができる教材を用意しました。(第1号)(第5号) ・「冬が来た」「I was born」など高校生の情操を培うのにふさわしい詩を用意しました。(第1号)	→50～52ページ、 54～56ページ →58～65ページ
	4 小説2	・極限状態にある人間が、正義と悪の間を揺れ動く様子を通じて、正義とは何か、勇気とは何かについて考える小説を用意しました。(第3号)	→72～87ページ
	5 小説3	・愛情を注いできたペットを亡くし、深い悲しみに暮れていた主人公が、突然現れた不思議な少年と一日を過ごすことで癒され、悲しみを克服する小説を用意しました。(第1号)	→107～116ページ
古文編	1 古文入門	・伝統的な言語文化を理解するための基礎となる、文語のきまりを解説したコラムを用意しました。(第5号) ・登場人物の言動を通して、個人を尊重し、能力を伸ばすことについて考えることのできる教材を用意しました。(第2号)	→124～125、128 ～129、134～136 ページ →126～127ページ
	2 随筆	・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号) ・作者の美意識と的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号)	→138～145ページ →146～147ページ
	3 詩歌	・人々に親しまれてきた詩歌を味わい、ものの見方・感じ方の伝統を理解することができる教材を用意しました。(第5号) ・伝統的技法である「本歌取り」を用いて実際に短歌を作る「言語活動」を用意しました。(第5号)	→154～163ページ →167～168ページ
	4 物語	・平安時代の習俗について、知識が深められるコラムを用意しました。(第1号) ・戦場での登場人物の言動から、他者を思いやる心について考えることのできる教材を用意しました。(第3号)	→178ページ →179～185ページ
	5 紀行	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号)	→190～195ページ
	文体の変遷	・文体の変遷について考えることができる教材を用意しました。(第5号)	→203～208ページ
漢文編	1 漢文入門	・熟語や人口に膾炙した格言などを通じて、訓読のきまりや日本における漢文の受容について知ることのできる「訓読の基本」を用意しました。(第5号) ・漢字の読みと意味の関係を理解することで、漢字に親しみ語彙力を高めることのできる「言語活動」を用意しました。(第5号)	→210～218ページ →218～219ページ
	2 漢詩	・自然の雄大さや季節の情景に触れた漢詩を用意しました。(第4号) ・漢詩が日本の文芸に与えた影響を示す訳詩や、「参考」、「漢詩と日本文学」を用意しました。(第5号)	→228～229ページ →228、231、234、 235ページ
	3 論語	・学問の重要さ、人を思いやる心、社会に対する態度について考えることができる教材を用意しました。(第1号)(第2号)(第3号) ・日本における漢文受容の歴史を知るとともに、根拠に基づいて自らの考えを形成する態度を養う教材を用意しました。(第1号)(第5号)	→238～241ページ →242～245ページ
	4 史話	・他者を思いやることの尊さについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→250～251ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-80	高等学校	国 語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	言文 701	新編言語文化		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ① **目標**…言語文化に対する関心と理解を深め、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成し、社会人として求められる言語能力を身につけられるよう、言語文化への興味・関心を広げられるような教材を選定し、「内容」に示された「知識及び技能」の二事項と、「思考力、判断力、表現力等」の二領域の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ② **「言葉の特徴や使い方」**…「知識及び技能」に示された「言葉の特徴や使い方」に関する事項の指導が行えるよう、「現代文編」の各教材末に「漢字と語彙」を示しました。「古文編」「漢文編」では、教材ごとに重要語句や重要助字・句法を取り上げ、それぞれ附録に索引も用意しました。
- ③ **「我が国の言語文化」**…「知識及び技能」に示された「我が国の言語文化」に関する事項の指導が行えるよう、「古文編」「漢文編」では、文語のきまり・訓読のきまりについて、読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。「古文学習のしるべ」や「訓読の基本」などでは、教材に即して重点的に扱えるようにしました。また、「文体の変遷」のページでは、歴史的な文体の変化について理解を深められるようにしました。更に読書については、「現代文編」の「小説の読み方」「詩の読み方」などにおいてブックガイドを示し、附録の「読書案内」では掲載作品や作者等に関する図書を紹介し、言語文化に関する読書への関心が高められるようにしました。
- ④ **「A 書くこと」**…「古文編」と「漢文編」に短歌や訳詩を作るなどの教材を用意しました。「短歌を作る」では、作った短歌を短冊に書く活動を設け、中学校国語科の書写との関連を図るようにしました。
- ⑤ **「B 読むこと」**…教材については、「3内容の取扱い」(4)エ・オの観点に示された事項に留意して選定しました。言語活動については、アの論述・発表とイの批評・討論は、読解教材に関連して行えるよう教材末の設問を工夫し、ウの読み比べは「現代文編」「漢文編」に、エの書き換えは「古文編」に、オの調査・発表は「現代文編」「古文編」に、それぞれ示しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容				頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書		読	計		
			書くこと	読むこと						
現代文編										
1随筆	さくらさくらさくら	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、イ	10		2	2	1 学期 9	
	〔言語〕「花」といえば「桜」?	(1)ア		(1)エ／(2)ア	16		1	1		
	「美しい」ということ	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、オ	18		1	1		
2小説1	とんかつ	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、ウ	24		3	3		

	雨漏りの音 [言語]	(1)ア, イ, ウ, エ		(1)ア, オ/(2)イ	36		2	2	
	■小説の読み方	(2)カ		(1)イ, ウ	45				
3詩歌	柳あをめる【短歌】	(1)ア, ウ		(1)ア, ウ	50		1	1	2 学期 11
	■短歌の読み方	(2)カ		(1)イ, ウ	53				
	雪の深さを【俳句】	(1)ア, ウ		(1)ア, ウ	54		1	1	
	■俳句の読み方	(2)カ		(1)イ, ウ	57				
	冬が来た	(1)ア, ウ		(1)ア, ウ	58		1	1	
	少年の日	(1)ア, ウ		(1)ア, エ	60		1	1	
	I was born	(1)ア, ウ		(1)ア, オ	62		1	1	
	[言語] 歌詞の意味や表現技法について考えよう	(1)ウ		(1)ウ, オ/(2)オ	66		1	1	
	■詩の読み方	(2)カ		(1)イ, ウ	68				
4小説2	羅生門 [言語]	(1)ア, イ, ウ, エ		(1)ア, オ/(2)イ	72		3	3	
	[言語]元になった古典作品と読み比べよう	(1)ア		(1)エ, オ/(2)ウ	88		2	2	
5小説3	夢十夜	(1)ア, イ, ウ, エ		(1)ア, ウ	94				3 学期 5
	■現代文の窓 小説へのいざない	(1)ア/(2)ア		(1)イ, エ	104		3	3	
	デューク	(1)ア, イ, ウ, エ		(1)ア, ウ	107		2	2	
	現代文編 計						25	25	
古文編									
1古文 入門	古文に親しむ	(1)ア/(2)ア, ウ		(1)ア	118		1	1	1 学期 10
	児のそら寝	(1)ア, ウ, エ/(2)ウ		(1)ア	122				
	●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い	(2)ウ, エ		(1)ア	124		2	2	
	用光と白波	(1)ア, ウ, エ/(2)ウ		(1)ア	126				
	●古文学習のしるべ2 古語を調べるために	(2)ウ, エ		(1)ア	128		1	1	
	絵仏師良秀	(1)ア, ウ, エ/(2)ウ		(1)ア	130				
	■古文の窓1 古典から生まれた近現代の小説を読む	(2)ア, カ		(1)エ	133		2	2	
●古文学習のしるべ3 用言の活用/係り結び/仮定条件と確定条件	(2)ウ, エ		(1)ア	134					
2随筆	徒然草 [言語]	(1)ア, ウ, エ/(2)ウ		(1)ア, イ, オ/(2)イ	138				3 3
	■古文の窓2 兼好法師、こんな一面も	(2)ア, イ		(1)エ	143		3	3	
	枕草子 [言語]	(1)ア, ウ, エ/(2)ウ		(1)ア, イ, オ	146				
	■古文の窓3 『源氏物語』に触れる	(2)ア, カ		(1)エ	148		1	1	
●古文学習のしるべ4 助動詞 助詞	(2)ウ		(1)ア	150					
3詩歌	折々のうた [言語]	(1)ア, ウ, エ, オ/(2)ウ		(1)ア, イ, ウ, オ/(2)ア	154				2 学期 10
	●古文学習のしるべ5 和歌	(1)オ, (2)ウ		(1)ア	164		3	3	
	[言語]短歌を作る	(1)オ, (2)ウ	(1)イ/(2)ア		167	2		2	
4物語	伊勢物語	(1)ア, ウ, エ/(2)ウ		(1)ア, イ, ウ	170				3 3
	[言語]和歌を自分の言葉で	(2)ア		(1)イ, ウ, オ/	176				

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
	書き換える			(2)エ					
	[言語]『伊勢物語』と絵画・ 工芸	(1)ア		(1)ア, オ	177				
	■古文の窓4 恋愛と結婚	(2)イ, ウ		(1)エ	178				
	平家物語 [言語]	(1)ア, ウ, エ/(2) ウ		(1)ア, ウ, オ/ (2)イ	179				
	■古文の窓5 『平家物語』のあらまし	(2)イ		(1)エ	186		2	2	
	●古文学習のしるべ6 敬語	(2)ウ		(1)ア	188				
5紀行	奥の細道	(1)ア, ウ, エ/(2) ア, ウ		(1)ア, イ, ウ, エ	190		2	2	
	[言語]文学碑を調べる	(1)ア	(1)ア		196	1		1	
	古典芸能へのいざない [言 語]	(2)ア		(1)エ, オ/(2) オ	198		1	1	
	文体の変遷	(2)ア, イ, オ		(1)エ, オ	203		1	1	
	古文編 計					3	22	25	
漢文編									
1漢文 入門	訓読の基本	(1)ア, ウ, エ/(2) ア, ウ		(1)ア	210		2	2	
	[言語]漢字の読みと意味— 漢和辞典を活用しよう	(1)イ, ウ/(2)エ		(1)ア	218				
	故事成語—三編 [言語]	(1)ア, ウ, エ/(2) イ		(1)ア, エ, オ/ (2)イ	220		3	3	
	■漢文の窓1 名前の表し方	(2)ア, ウ		(1)ア	226				
2漢詩	絶句と律詩—七首 [言語]	(1)ア, ウ, エ/(2) ア, イ, ウ		(1)ア, イ, ウ/ (2)イ, ウ	228		4	4	
	〈漢詩と日本文学〉	(1)ア, ウ, エ/(2) ア, イ		(1)エ	234		1	1	
	[言語]訳詩を書く	(1)ウ/(2)ウ, エ	(1)ア, イ		235				
	■漢文の窓2 漢詩の形式ときまり	(2)ウ		(1)ア	236	1		1	
3論語	論語—八章	(1)ア, ウ, エ/(2) イ		(1)ア, イ	238		4	4	
	日本人の解釈 『論語』の注釈を読む	(1)ア, ウ, エ/(2) ア, イ		(1)イ, オ/(2) ウ	242		1	1	
	■漢文の窓3 孔子と弟子たち	(2)イ, カ		(1)ア	246				
4史話	史話—三編	(1)ア, ウ, エ/(2) イ		(1)ア, イ	248		3	3	
	[言語]『三国志』の英雄ポス ターを作る	(2)ア, イ	(1)ア		254	1		1	
	漢文編 計					2	18	20	
	合計					5	65	70	